新板

異形仙人絵本 中

○荘伯微ハ漢の
人なりして道を
このみてみちを
りくむう方をむかう
ぎ日の入るをよ
あかよりひく
日をぬされ崑崙
山をくらん拝んを
三十年をへて
えんろん山の仙人よ
あつくきんたんを
のみうてかうん
て合せ服して
仙人となりけり

○伯道道恭ハ
皆後漢の人なり
王屋山に入て道
を修する事四千
余年錬丹を合
せて二人ともに
是を服されけれど
仙法を修する事
なりとのく白
鹿にのりて
雲中をかける
すみかとあれ
ばむかしより二人
ともにしれく
世にしれり

○彭宗あざなハ
法先年二十にして
仙を杜中仙人に
ならふ志ふかく
山に入薬をとりて
岩のはつまさや
ながって死をえして
つきおもしめのほし
守一の道をかたる
ひつよく妙なり
それより天上に帰
それもわかれども又
五色の雲をまか
わひて仙人の死
をかとめてかき
おてころよのい
つくるなり

○簫綦ハ漢の末の人なり道を天平山にまんじゆきやうふかく仙術をおこなひつねに筆をもちてひやうらん乃二ゑるとびありけんにあそびなり碧霄真人とがうし道おうじやうして白日にいつひそ天にのぼれり

○苗龍ハ唐の初の人なりよく龍をゑがく後ち仙道をおさめひて仙人となりては龍をいさう東南のこくにある人の絵をあつめて龍石となりてはりうとひやまつらう苗龍のてんじやうししかつて石となつたり

○陳南字ハ南木博羅の人なり常に髪をみだして一日に行こと三百里ありき三山の大気を漏てよくあやしき事を行ひけるにぞ陳南笠をうかべて水をわたる事自由也となり

○郭璞あざなハ景純河東人なりつねに経術をこのみ博学なり陰陽算暦卜筮にくはしく通ぜり璞ある年呉郡のかたへゆかんとせし途中にて馬の死したるを見て鼻をふきければたちまち馬よみがへりしとかや人の作る所の書あまた世にのこり終にその行方しれずとなり

○孔元いつ重
の西乃人といふ
るすとちびてやま
松脂松実茯苓
を服する一百七十
余歳なれどもわか
き人のごとし
酒えんまのぞむ
時杖をもって
さらに酒まなりて
酒とのむすなわち
アかしあたまよ
あるをたりて地よ
つく三十余日程
してハ又かはなり
絶よ仙人となり
てゐりき

○呂道章ハ
垣曲の人なり
秘かに仙人を学
ふつおいゆるよ
仙道をえても
そのち人の病
をみて治されぞ
皆志りしはわ
る時黄河氾濫
よつよ衣をぬのて
道章そのうへよ
座して風よ
さかひてこう
はつれて仙人
となれり

○貧局先生ハ
はじめかゞりんと
みづくんに問て
いろ〱病ありや
こ病あるものは
ハ紫丸赤茶を
あたへさどもは
すこし病いゆ
ろものかんをとる
もとあれども一
錢すこしのち
終にかうらい山に
ゆりさる廟を
とてくうまゝを
まつる

○羅眞人ハ
黄梅といふ所の
人なりある時
老人来りて我は
病龍なり願くは
くすり薬を施くれ
給へとて羅真
薬をあたへたるのち
あま雨たちまち降
とあるは願ひて
龍なり羅真
を負てとびさる
ひゆへにその池を
洗石地といふて
今にありとかや

○馬鈺は寧海の人なり仙道をつとむる事二十よねんあまり亭辞してしづかなる山にこもりこゝろよく仙家ゆうえんなれば仙人雲にのりてきたり仙童玉女をひきて前後にあり鈺をひきてつれ蓬莱にいたる鈺ともにつれて添のぼりゆく

○王道真子は白雲の中あり絶えず白雲巻中よりつゞきてそのぞみかれ百尺の好樓のごとく道真子は此雲中より出れは頭をつねにあらはしあらはれてゆうくなり

○江妃の二女ハいつれの所の人といふ事をしらず。ていかうほといふ人かうひの所にあそんで二女に行あひて[illegible]の明珠を二女に[illegible]江妃の二女ハ[illegible]まさに仙人にありけり

○魏伯陽ハ呉の人也。仙術を好て仙薬を煉けり。弟子三人つれて山に入りけるに、ある時弟子のうち二人ハ心うたがひて、伯陽の仙薬を服し給ひて死し給ふをみて、弟子二人ハ山をいでて帰りけるに、伯陽ハ虞姓の弟子と藥を服して生かへりて、つゐに仙術を得て仙となりけるとなり

○ぎよく處一ハ
寧海の東牟
の人にて大定八年よ
重陽祖師より
おゐて分子ある
ある附ちゆゝゆゝ
つねゝ家とゝ宗に
ゆくだえてりらし
うゝさえゝんがら
てりの去つよてゞつう
鐵査山よあうほ
たよいらこれをとえ
まバ一年の書ゝさ
らゝよあのそ仙人
とあうつきせんと
鐵査山ぞふきら
ざんぶうゝの二百
里にあるのぞりと
いふ